

# 決算報告書

第20期事業年度

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構



## 令和5年度 決算報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	25,765	26,553	788	(注1)
施設整備費補助金	2,881	2,143	△ 738	(注2)
補助金等収入	1,564	1,700	136	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	6	6	0	
自己収入	130	621	490	
雑収入	130	621	490	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,936	4,447	1,511	(注5)
目的積立金取崩	36	36	0	
引当特定資産取崩	165	175	10	(注6)
計	33,483	35,681	2,198	
支出				
業務費	26,096	23,854	△ 2,242	
教育研究経費	26,096	23,854	△ 2,242	(注7)
施設整備費	2,887	2,149	△ 738	(注8)
補助金等	1,564	1,700	136	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,936	3,957	1,021	(注10)
計	33,483	31,660	△ 1,822	
収入－支出	0	4,021	4,021	

端数は四捨五入により整理されております。

なお、各項目の端数整理の関係から計が一致しない場合があります。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越し、追加予算の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 788 百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、年度内未完了により翌年度へ繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が 738 百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が 136 百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、野辺山 45m 電波望遠鏡の有料観測による収入の増加や為替差益等により、予算額に比して決算額が 490 百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階での見込みよりも受託研究による収入が多額となったこと等により、予算額に比して決算額が 1,509 百万円多額となっています。
- (注6) 引当特定資産取崩については、予算段階での見込みよりも減価償却引当特定資産を財源とする資産取得を行ったことにより、予算額に比して決算額が 10 百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、令和5年度に実施予定であった事業の一部の令和6年度への繰越し、翌年度以降の固定資産の購入に備えて減価償却引当特定資産を計上したことなどにより、予算額に比して決算額が 2,240 百万円少額となっています。
- (注8) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が 738 百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が 136 百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階での見込みよりも受託研究による収入が多額となったことに伴い執行が増加したこと等により、予算額に比して決算額が 1,019 百万円多額となっています。